



2023年3月31日  
株式会社みずほ銀行

## Proximar 株式会社に対するシンジケーション方式での 本邦初の「ブルーサステナビリティローン」契約の締結について ～海洋保護と持続可能な水産業に資する取り組み～

株式会社みずほ銀行（頭取：加藤 勝彦、以下「みずほ銀行」）は、Proximar株式会社（CEO：Joachim Nielsen、以下「Proximar」（プロキシマー））との間で、シンジケーション方式による本邦初のブルーサステナビリティローン（以下「本ローン」）のアレンジャーに就任し、本日ローン契約を締結しました。

ブルーサステナビリティローンとは、環境改善効果および社会的課題解決の双方に資する事業の資金を調達するために実行されるサステナビリティローンの中でも、特にSDGs目標14（海の豊かさを守ろう）の達成を促進し、海洋保護や持続可能な水産業に資する事業の資金を調達するために実行されるローンです。

本件の融資対象となるアトランティックサーモンの陸上養殖プロジェクト（以下「本プロジェクト」）は、海洋汚染の防止および生物多様性の保全といった環境改善効果に加え、国産アトランティックサーモン養殖による食料の安全保障と持続可能な食料供給、生産施設の周辺地域における産業活性化といった観点からの社会的便益が期待されます。

みずほ銀行は、本プロジェクトによる海洋保護等の環境・社会への取り組みを評価し、ファイナンス面からサポートするため、ブルーサステナビリティローンの活用を提案し、契約を締結しました。

Proximarは、「グリーンボンド原則」、「ソーシャルボンド原則」、「サステナビリティボンドガイドライン」、「グリーンローン原則」、「ソーシャルローン原則」、「グリーンボンドガイドライン」、「グリーンローンガイドライン」、国際金融公社が発表した「ブルーファイナンスガイドライン」、および国連環境計画金融イニシアティブが発表した「持続可能な海洋経済に対する金融原則」に基づき「ブルーサステナビリティファイナンス・フレームワーク（以下「本フレームワーク」）を策定しました。

なお、本フレームワークの各種原則・ガイドラインへの適合性評価については、第三者機関である株式会社日本格付研究所からセカンドパーティ・オピニオン（※）を取得しています。本ローンは、同オピニオンを踏まえたブルーサステナビリティローン調達です。

〈みずほ〉は、持続可能な社会の実現に向けた取り組み（サステナビリティアクション）を強化しています。海洋保護を含む生物多様性保全についても、資金の流れを自然に良い影響を

もたらす「ネイチャーポジティブ」へ転換するという TNFD の目標を支持しており、TNFD フォーラムへの参画やお客さまの生物多様性保全に向けた取り組み支援などを積極的に行っていきます。総合金融グループとしての知見を活かし、ファイナンスやコンサルティング機能を通じて、お客さまの企業価値向上や SDGs 達成に貢献していくとともに、多様なソリューションの開発・提供に積極的に取り組んでいきます。

＜本契約の概要＞

借入人：Proximar 株式会社

契約金額：88 億円

アレンジヤー：株式会社みずほ銀行

コ・アレンジヤー：株式会社静岡銀行、株式会社日本政策投資銀行

貸付人：株式会社みずほ銀行、株式会社静岡銀行、株式会社日本政策投資銀行

契約締結日：2023 年 3 月 31 日

資金用途：静岡県小山町におけるアトランティックサーモンの閉鎖循環式陸上養殖プロジェクト資金

（ご参考）Proximar 株式会社／会社概要

会社名：Proximar 株式会社

所在地：横浜市中区山下町 2 産業貿易センター3F

代表者：Joachim Nielsen

設立：2017 年 5 月 8 日

事業：閉鎖循環式陸上養殖技術によるアトランティックサーモンの陸上養殖事業

URL：<https://ja.proximarseafood.com/>

（※）JCR による評価レポートをご参照ください。

（<https://www.jcr.co.jp/greenfinance/>）

以上